

平成26年9月11日
於
府中市立教育センター

平成26年第9回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成26年第9回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成26年9月11日(木)
午後1時30分
閉 会 平成26年9月11日(木)
午後4時16分
- 2 会議録署名員
委員 齋藤 裕吉
委員 村越 ひろみ
- 3 出席委員
委員長 崎山 弘 委員長職務代理者 齋藤 裕吉
委員 村越 ひろみ 委員 松本 良幸
教育長 浅沼 昭夫
- 4 欠席委員
なし
- 5 出席説明員
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後藤 廣史
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 英 太郎
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江口 桂
総務課長 志摩 雄作 ふるさと文化財課長補佐 黒沢 明美
総務課長補佐 北村 均 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸夫
学務保健課長 酒井 利彦 生涯学習スポーツ課長補佐 古田 実
給食担当主幹 須 恵 正之 美術館副館長 山村 仁志
学務保健課長補佐 山田 晶子
指導室長補佐 古塩 智之
統括指導主事 日野 正宏
指導主事 山本 勝敏
指導主事 坂元 竜二
指導主事 林田 孝子
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊坂 奈美
総務課事務職員 平田 暁

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納について
- (2) 周年記念式典教育委員会あいさつについて（四谷小学校）
- (3) 平成26年度日光林間学校実施結果について
- (4) 平成26年度「府中の教育を語る会」について
- (5) 市制施行60周年記念「市民文化の日」の開催について
- (6) 府中市郷土の森博物館常設展示室リニューアルオープンについて
- (7) 市制施行60周年記念「第5回武蔵府中熊野神社古墳まつり～5周年特別記念」について
- (8) 学校教育における地域の教育力の活用と学び返しの推進について
- (9) 市制施行60周年記念 第18回みんなのスポーツdayの開催について
- (10) 市制施行60周年記念 ウォーキング・ウォークラリー 歩いて知ろうわがまち府中！の開催について
- (11) 府中市美術館運営協議会答申について

第5 府中市教育委員会委員長選挙について

第6 府中市教育委員会委員長職務代理者の指定について

第7 その他

第8 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長(崎山 弘君) ただいまより、平成26年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 本日の会議録署名員は、齋藤委員と村越委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○委員長(崎山 弘君) 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、よろしくをお願いいたします。

本日の「日程第5」及び「日程第6」は人事案件ですので、非公開扱いとし、議事進行の都合上、定例会の最後で取り扱うこととしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「日程第5」及び「日程第6」は「日程第8 教育委員報告」終了後、定例会を一時中断して、非公開で取り扱うことといたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 本日は、議案の審議はございません。

_____ ◇ _____

◎報告・連絡(1) 寄附の採納について

○委員長(崎山 弘君) 報告・連絡から始めさせていただきます。

報告・連絡の(1)について、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐(北村 均君) それでは資料1の「寄附の採納について」のご報告いたします。今回は2件でございます。こちらは、学校教育活動の一層の充実、発展を図るために寄附されたものでございます。

1件目につきましては、寄附の採納先は、府中市立府中第四小学校でございます。寄附品はバスケットゴール1式、70万3,000円でございます。寄附者は、日本中央競馬会東京競馬場 場長 増田知之様で、受領日は平成26年8月25日でございます。

2件目につきましては、寄附の採納先は、府中市立小中学校33校でございます。寄附品は詩集「七月六日の赤い空」66冊、13万2,000円でございます。寄附者は、渡邊圭子様です。受領日は平成26年9月1日でございます。

府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっておりますが、両名とも感謝状の受け取りはご辞退されているため、感謝状の贈呈は行いません。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまのご報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告連絡の1番について了承いたします。

◇

◎報告・連絡（２）周年記念式典教育委員会あいさつについて

報告連絡（２）について、同じく総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（北村 均君） それでは「お祝いの言葉」。

府中市立四谷小学校が創立４０周年を迎え、本日ここに、晴れやかに記念式典が挙行されますことは、誠に喜ばしく、こころからお祝い申し上げます。

四谷小学校は、昭和４９年４月に、府中市西部の自然に恵まれた多摩川の河畔に市内で２０校目の市立小学校として開校しました。

本校は、武蔵野の緑豊かな自然と、多摩川の流れに囲まれた環境で、特別養護老人ホームよつや苑や地域の農家の方々と関わる体験的な学習を各学年に位置付け、四谷の地域を愛し、地域の一員として自他を大切にすることを養うなど、学校と地域、保護者が一体となった教育活動を推進しております。

また、「楽しく分かる授業作り」や「安心・安全で信頼され、一人一人を大切にする学校」を目指し、児童が主体的に学習し、心身ともに健康であり、社会の形成者としての自覚を身に付けるなど、本校の目指す学校像が隅々まで浸透していることを感じます。

このような取り組みは、歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々のご努力と、保護者・地域の皆様のご理解とご支援の賜であると心から感謝申し上げます。

さて、児童の皆さん、今日は四谷小学校の４０周年を祝う日です。この４０年間、四谷小学校で学んできた多くの先輩や、先生方もきっと喜んでいただいていることと思います。

ここに集まっている児童や先生方は年とともに変わりますが、今も歌い続けられる校歌や教育目標である「学ぶよろこび」「ふみだす強さ」「人へのやさしさ」は、何年経っても変わらず引き継がれていき、四谷小学校の歴史と伝統となります。

校歌には、「行く手 望み 希望に燃えて 日ごと 日ごとを 学び励む」とあります。この歌詞は、皆さんが、歴史ある自然豊かな地に建つこの学校で、明るく希望をもって学び、心を豊かに、共に仲よく生きていく姿を歌ったものです。このような理想を追い求め、これからも「誇りをもってふるさと府中を創り、世界で活躍する府中っ子」に成長することを心から期待しています。

結びになりますが、創立４０周年を契機として、本校が地域に根ざした学校として、ますます発展することを祈念しますとともに、ご列席の皆様方をはじめとしまして、これまで特段のご理解・ご協力を賜りました多くの方々に、深く感謝申し上げます、挨拶とします。

平成２６年１０月２４日 府中市教育委員会

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいま１０月２４日の四谷小の周年行事で「お祝いのことば」について報告がありました。

○総務課長補佐（北村 均君） 委員長、済みません。「よつや苑」の「苑」の漢字が間違っていましたので、訂正をいただければと思います。正しくは、「よつや苑」です。申しわけございません。８行目です。

○委員長（崎山 弘君） ただいまのご報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（村越ひろみ君） 読み間違えられたのか、私の聞き間違えなのかですが、10行目の、「地域の一員として」、ここには「自他を大切にす態度」と書いてあるのですが、「自然」と読まれた気がするのですけれども、「自他」でいいのですか。

○総務課長補佐（北村 均君） 済みません、「自他」です。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見、松本委員。

○委員（松本良幸君） 特にこだわりではないのですけれども、裏面の「ここに集まっている児童や先生方は年とともに変わりますが」とあるのですけれども、年というより「時とともに」とか「時代とともに」とか、もう少し流れの字のほうがいいかなと何か少し引っかかったのですけれども。

○委員長（崎山 弘君） 実際、これ大体同じものを私いつも読んでいるときに、「年とともに入れ替わりますが」っていつも読んでいるのです、実は。確かに「変わる」って変化してしまう形に読めるのですけれども、昔この周年行事のお祝いの言葉に「子どもたちに対する呼びかけがなかったのではないか」と昔指摘したことがあったのです。それでこれが入るようになったのですけれども、やはりその子どもたちは時とともに変わるって、皆さんがどんどん変わっていくという意味ではなくて、去年、おととしと来年、再来年、児童たちは入れかわる、先生たちも入れかわる、でも四谷小学校はずっとここに存在しているのだよという意味合いだったので、私はここいつも「入れ替わる」と読んでいました。今回もそのつもりで実は個人的にはいました。

ほかに何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎報告・連絡（3）平成26年度日光林間学校実施結果について

続きまして報告・連絡（3）について学務保健課お願いいたします。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） それでは、資料3に基づきまして平成26年度の日光林間学校実施結果についてご報告いたします。

日光林間学校は、小学校全22校の6年生を対象に7月20日から8月9日の間に実施いたしました。参加状況でございますが、参加人数は2,216人で在籍数2,259人に対し、参加率は98.1%でございます。過去10年間で一番低い参加率となりました。

裏面をごらんください。参加状況でございますが、43人の児童が不参加でございました。不参加の理由といたしましては発熱、けが、マイコプラズマ肺炎、ウイルス性発疹及び体調不良が29人でもっとも多く、校外の文化・スポーツ活動への参加や一時帰国、身体の不安などによる家庭の事情が8人、アメリカンスクール通学が6人で行っていただきました。実施期間中、大きな事故やけが等はございませんでしたが、発熱や嘔吐、ぜんそく様症状で延べ5人が日光市民病院を受診いたしました。児童たちは、事前に学習したことを生かし、日光東照宮や華厳の滝の見学や日光彫りの体験、戰場ヶ原のハイキングなど、歴史・文化・自然について学習しました。また、帰校後に事後の学習を行うことで、1人1人の学びを深めることができました。

報告は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○委員（松本良幸君） 昨年も聞いたかもしれないのですけれども、アメリカンスクール通学というのは、籍が府中市にあるけれども、通常アメリカンスクールに行っているということでしょうか。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） 今委員の方がおっしゃられたとおりでございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。大きな事故もなかったようで、次回に活かせると思います。

では、報告・連絡（3）につきまして了承いたします。



◎報告・連絡（4）平成26年度「府中の教育を語る会」について

続きまして報告・連絡（4）について、指導室、お願ひいたします。

○統括指導主事（日野正宏君） それでは、私から資料4に基づきまして、「府中の教育を語る会」についてお話いたします。今年度は11月1日土曜日、生涯学習センターにて開催いたします。第2次府中市学校教育プランの、第7の柱「府中を愛する心を醸成する」を踏まえ、今年度のテーマ「郷土府中を愛する心」とし、コミュニティ・スクールの取り組みを視野に入れながら、地域学習や地域の教育資源の活用について意見交流をいたします。プログラムとしましては、学校における地域学習の実践の発表、パネルディスカッション、有識者による講演を予定しております。今後、実践発表をしていただく学校やパネルディスカッションのパネラーとなつていただく校長先生やPTAの方、またコミュニティ・スクールのコーディネーターの方について調整してまいります。

報告は以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

では、報告・連絡（4）について了承いたします。



◎報告・連絡（5）市制施行60周年記念「市民文化の日」の開催について

続きまして、報告・連絡（5）について、文化振興課、お願ひいたします。

○文化振興課長（英 太郎君） 文化振興課より「市民文化の日」の開催についてご報告いたします。資料5のパンフレットをごらんください。市制施行60周年祈念特別事業といたしまして、新たに市民文化の日を設立いたしました。これに伴い、第1回目となる本年10月5日、日曜日に市内9カ所の文化施設が連携・協力して、それぞれの施設の枠組みを超えて各種イベントを実施いたします。市民文化の日の設定は、平成20年3月に策定されました府中市文化振興計画に基づき、第6次府中市総合計画の基本目標「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」の実現に向けた施策として

実施いたします。その設定目的は、「市民が身近な場所で良質な文化・芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境」を形成することにあります。

2ページをごらんください。各施設の主な催し内容でございますが、まずグリーンプラザでは特別上映会「二十四の瞳」、次のふるさと府中歴史館では展示会「府中市誕生60年」、熊野神社古墳展示館では「第5回武蔵府中熊野神社古墳まつり」、3ページ、ルミエール府中では市民会館で「名作映画ミニパネル展」、図書館で「無料講演会」、次の郷土の森博物館では27年ぶりにリニューアルとなった常設展示室の無料観覧。6ページに飛びまして、美術館は「生誕200年ミレー展の無料観覧」、次の府中の森公園では「広場で行うピクニックライブ」。7ページ、生涯学習センターでは松本幸四郎、松たか子がナレーターを務める映画「ライフ」の無料上映。最後に芸術劇場では「第50回府中市民芸術文化祭」の記念式典を開催します。この式典については前ページ4ページ、5ページに詳しくプログラムを掲載してございます。

4ページ、5ページをごらんください。この式典は全4部構成で市と多くの市民文化団体が協働して舞台をつくり上げます。第1部は府中市民芸術文化祭の祝賀と表彰式で、府中市民芸術文化奨励賞を受賞された、府中市立府中第四小学校ハーモニーブリーズジャズオーケストラの表彰も行われます。このハーモニーブリーズについては、第2部の冒頭で演奏をしていただきます。第3部では演目として、国府つながりの町で震災時の支援をきっかけとして交流が始まった宮城県多賀城市芸術文化協会の皆様による発表など。第4部では高野市長と野口前市長の特別共演による日本舞踊の祝賀の舞などが予定されております。どなたでも、また各部の途中からの入場も可能となっております。

最後に裏表紙をごらんください。子どもたちに向けては、各施設の場所を知ってもらうためにスタンプラリーも実施いたします。多くの市民の皆様へ、美術・音楽・文化体験など、様々な形で楽しんでいただけるような催しにしていまいりますので、10月5日日曜日、市民文化の日のこの機会に、市民にいろいろな施設に足をお運びいただき、お楽しみをいただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告・連絡（5）について了承いたします。



◎報告・連絡（6）府中市郷土の森博物館常設展示室リニューアルオープンについて

◎報告・連絡（7）市制施行60周年記念「第5回武蔵府中熊野神社古墳祭り」について

報告・連絡（6）（7）について、一括して、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） ふるさと文化財課から、2件まとめてご報告申し上げます。

まず、府中市郷土の森博物館常設展示室リニューアルオープンについて、資料6に基づいてご報告いたします。昭和62年4月に開館した郷土の森博物館は既に27年が経過し、900万人を超える方々に親しんでいただいております。平成16年

の府中市制施行50周年を契機に常設展示室のリニューアルに着手し、基本設計、実施設計を経て、平成19年度に「くらやみまつりコーナー」を改修し、20年度に「こども歴史街道」「体験ステーション」を設置、公開となりました。しかし、5カ年計画の更新事業が平成21年度から中断しましたが、市制施行60周年の記念すべき今年の完成に向けて昨年度更新事業が再開され、本年10月4日のオープンを迎えることとなりました。

10月4日土曜日は、午前10時からリニューアルオープン記念式典を挙げていただきまして、10時半から常設展示室の一般公開をいたします。裏面をごらんください。

今回のリニューアルには「ムラのはじまり」「古代国府の誕生」「国府から府中へ」「宿場のにぎわい」「変わりゆく府中」「都市と緑と」の6つのコーナーを改修し、奈良・平安時代の国府、江戸時代の宿場町を初め、府中が歩んできた特色ある歴史や、熊川や浅間山の自然など豊富な実物資料と模型、ジオラマなどの展示物のほか参加型展示を設けるなど、全ての世代の方々にわかりやすく親しんでいただける展示室として新しく生まれ変わります。今後リニューアルする常設展示室を含めた博物館の活用について、これまで以上に学校との連携を強化し、学校の学習活動の場として有効に利用していただけるよう努めてまいります。ぜひ、長年にわたる調査研究成果と、最新の技術を駆使してつくり上げた常設展示室をごらんいただきたくお願いいたします。

続きまして、「市制施行60周年記念 第5回武蔵府中熊野神社古墳まつり」について資料7に基づきご報告いたします。全国でも最大規模を誇る最古の上円下方墳である熊野神社古墳は、近年の古墳ブームにあやかりさまざまな雑誌に取り上げられ、注目を浴びております。この古墳において熊野神社古墳保存会を中心に周辺の自治会や市民団体等のご協力により、武蔵府中熊野神社古墳まつりは今年で5周年を迎えることになり、特別記念としてこれまでにないパワーアップした古墳まつりを開催いたします。毎年恒例の古墳パレードや現役の小学1年生によるくまじいぬりえコンクールの表彰式、また古墳ステージにおける雅楽やジャズのほか、ことしは府中東高校の和太鼓の演奏もあり、楽しいイベントが満載です。

日程は10月4日土曜日は午後5時から8時まで、5日日曜日は午前10時30分から午後4時までとし、小雨決行でございます。この古墳の神秘的な魅力と古代の雰囲気をご堪能いただきたく、ぜひお越しをお待ちしております。

報告は以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、では、まず（6）のほう、「常設展示室のリニューアル」に関して何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 大変楽しみなわけですがけれども、説明の中で参加型展示というお話がありましたけれども、具体的には例えばどんなふうなことなのでしょう。行ってみればわかると言われてしまえばそれだけなのですが、ちょっと興味があります。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 来ていただいて楽しんでいただいたほうがよろしいかと思うのですが、実際に触ったりとかいろいろ手をかざすといろいろな

仕掛けがあったりということで、ただ単に見るだけではなくて、自分で動いて触ったりというような、行動が伴ったような展示という形になると。ちょっとうまく説明できませんが、ぜひお越しください。

○委員（齋藤裕吉君） はい、必ず行きます。ただ、小学生の子どもたちが全校利用させていただいて勉強していると思うのですけれども、そういう点では期待を膨らませるような、そういうご説明などもあると一層よろしいかなというふうな気持ちでおいりましたので、質問させていただきました。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。

やはり子どもたちが一緒に楽しめる展示があるとうれしいなと思います。実際、前回の教科書選定の会議のときに、やはり教科書は挿絵が重要という話を私した覚えがあるのですけれども、教科書ではただ社会科の教科書で、挿絵で古代のこと、あるいは江戸時代のこととかわかるわけですけれども、それ以上にやはりこういう博物館に行くともう少し五感に触れる部分が。それが参加型ということだと思っております。触れるというか、見るだけだと視覚だけでただ見るだけですけれども、それがほかの五感に訴えられるような形で生き生きとした形で展示物があれば子どもたちの学習には非常に助けになると思うので、やはりぜひ府中市の小中学生が活用していただけるとありがたいかなと思っております。よろしくをお願いします。

ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

それでは、(7)の古墳まつりのほうに関して何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 2日間にわたる催しということですが、1日目が夕方5時からという理由ですね、暗くなるのを待ってやるという。歴史的な何か背景というのでしょうか、経過があつて夕方からのスタートになっているのかどうか。その辺いかがなのでしょう。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） この熊野神社古墳を舞台に雅楽とかいろいろなコンサートが繰り広げられるのですが、そのより一層幻想的に演出するというので、暗闇の中で光を当てて古墳を照らすというような演出効果を狙ったところから、夜からということにしております。

○委員（齋藤裕吉君） 前夜祭という程度の意味ですかね、ああそうですか。暗くなる時刻なのでこれもまた子どもたちの視点でいうと、1人で出かけるというのは難しい時間帯になるのかなというふうな思いがあつたものですから、質問をさせていただきました。親子で楽しむという、参加させていただくということ呼びかけていけばよろしいかと思うのですけれども。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

私もこれ何回か行ったことがあるのですけれども、小雨決行で、やはりコンサートだと楽器持って来られるじゃないですか。やはり雨が降ると楽器っていうのはやはりちょっと困るなというところがあるので、特にことは天候が不順なので、もしざっと降られるとすると、やはり太鼓とか楽器とか「雨に濡れては嫌だな」という人たち

もいるだろうし、また準備のときに置いてあるスペースというのも、そんなに屋根があるスペースが多くないので、その辺の、雨が降ったときにせめて人は濡れていても楽器は濡らさないようにスペースだけは確保しておいてあげたほうが、来ていただく方々にとっても安心できるかなと思いますので、雨のときのことをちょっと考えていただけるとありがたいかなと思います。

よろしいでしょうか。では報告・連絡（7）について了承いたします。



◎報告・連絡（8）学校教育における地域の教育力の活用と学び返しの推進について
続きまして報告・連絡（8）について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） それでは生涯学習スポーツ課より「学校教育における地域の教育力の活用と学び返しの推進」につきまして別紙資料8に基づきまして、少々お時間をいただきましてご報告を申し上げます。

まず資料の「1 趣旨」のところでございますが、教育委員会が行う事務のうち社会教育・生涯学習に関する事務は、現在文化スポーツ部が補助執行という形式で行ってございます。社会教育・生涯学習に関する計画として、生涯学習推進計画を策定しておりますが、同計画では、基本理念として「『学び返し』を通じた地域教育力の向上」を掲げています。これを学校教育の分野においても推進していく上で生涯学習推進計画の実現のみならず、学校教育プランで掲げている「地域の教育力を活用する」という柱の実現にもつなげる取り組みを推進していくものでございます。この取り組みは地域事業を立ち上げるというわけではなく、学校教育部門と、社会教育、生涯学習部門との連携により各計画の実現を図るものでございますが、府中版コミュニティ・スクールへの取り組みが本格化してきていることもございますので、この連携を一層深めてまいりたいと考えているところでございます。

続きまして2に参りまして、その具体的な方策でございますが、府中市文化団体連絡協議会加盟団体等、次に記載の市民を学校教育現場へ講師として派遣することについて、文化スポーツ部生涯学習スポーツ課が窓口となって紹介しております。ただし、派遣に伴う費用については学校負担といたしますが、費用は若干の講師謝礼と教材費に相当するもので、著しく高額なものになることは想定してございません。また、学校側の窓口は教育管理職及びコミュニティ・スクールコーディネーターの方を想定しております。

2の右側に簡単なフローを記載しておりますが、学校側で企画立案されましたら、生涯学習スポーツ課にお電話かメールで派遣依頼をしていただければ、生涯学習スポーツ課のほうで講師となるべき方との条件等の調整を行い、その結果を学校側に連絡することとしています。そこからの企画の細部の確定や授業・講座等の実施は直接学校と講師の方でやりとりしていただき、講座等が終了しましたら学校は謝礼等を支出するとともに、生涯学習スポーツ課宛てに実績報告書を提出していただきます。以上が全体の流れとなっております。

最後に3のコミュニティ・スクールコーディネーターのスキルアップに向けて、でございますが、文化スポーツ部では、明治大学に委託して「生涯学習ファシリテータ

「一養成講座」というものを開催してございます。ファシリテーターとは、会議等での場で発言や参加を促したりする人のことをいいますが、このファシリテーターとコミュニティ・スクールコーディネーターの役割は共通する部分が多いと考えられますので、受講対象を生涯学習に取り組んでいる方だけでなく、コミュニティ・スクールコーディネーターの方にも拡大するものでございます。

開催日程は右の表に記載のとおりで、全5回の講座となっております。会場はいずれも生涯学習センターでございまして、一般の方には初級から3カ年かけて初級から上級まで受講をしていただいておりますが、コミュニティ・スクールコーディネーターの方には初級または中級を選択して受講していただけることといたします。

以上、全て文化スポーツ部の既存の事業の延長線上で行うことではございますが、今後定例校長会でもご説明の上、このような取り組みを推進してまいりたくご報告させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございませうでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員（松本良幸君） これは基本的には全校にお願いしていこうというものになるのでしょうか。それとも例えば最初は何校か、または家庭教育学級みたいに何校か合同でやるというのでもいいとか、そういうのは具体的にはどのように思っているのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） その対象の幅ということでございますが、基本的には33校全校というふうに考えてございまして、またその中にご要望いただければ、今ご説明した内容の中で進めさせていただきたいというふうに考えてございまして。以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） 学び返しということをして学校の中で行っていきたいという計画と思っておりますけれども、具体的にどんなふうな、例として考えた場合にどんな例が考えられるのかなということで、具体例についてはここには表明されておりませんので、ご説明いただければと思うのですが、トップスポーツチームというとならサッカーかなとか、そういう程度のイメージは湧くのですが、いかがでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長（矢ヶ崎幸夫君） 2の、①から④の中に記載しております団体、登録者の方々に基本的には講師となって学校等でそういったものを展開していただくわけではございますが、例えばのお話といたしまして、通常学校の先生等が行っておりますもの、そういったものですか、また学校の先生にはそういったスキルがなくてやりたくてもできないようなもの、例えば生け花ですとか、そういったものが生け花の資格を持っている方が地域にいらっしゃる場合には、そういった方々が学校のほうでその学校の依頼に応じてそういったことをやりたいといった場合にはそういった方も紹介できますよといったことも考えてございまして、また体育等の授業においてトップチームの方々がそのトップチームの行っております種目に限らず体幹トレーニングというような形で広く体育の授業に参画していただくこと、また放課後の部活動などにおいても、体育協会の加盟団体のほうでそういった形の合意要請がかかるような場合には、そういった所から講師の方を派遣していただいております。

くといった幅広いものがいろいろできないかなということ考えているところがございます。以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。もう1枚のペーパーが後ろのほうに入っていたもので、少しイメージが湧きました。これまで行っていた地域人材活用という、そういうような取り組みを再組織化していくというような、そんな感じでしょうか。ぜひ推進していきたいなというふうに思います。よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（村越ひろみ君） 確認というか。では、これは例えば学校が立案というのもクラスとか学年単位でもいいし、部活でもいいということ、あとはコミュニティ・スクールの企画でもいいということになるのですか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 今委員さんからお話がありましたとおり、基本的に学校教育にかかわる部分の中で、私どものほうが社会教育部門としてお手伝いできる内容であれば、そういった形で勉強してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（崎山 弘君） ほかによろしいでしょうか。

○委員（松本良幸君） ここで講習とかそういうものを受ける対象者なのですけれども、児童・生徒向けというふうに限定になりますか、それとも先生方であったり保護者であったりという、対象者によって内容も変わってくるかな、指導方法を教えてほしいとかいうふうなことになるれば先生とか、という形になるかと思うのですがいかがでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長（矢ヶ崎幸夫君） 今の点でございますが、3番のファシリテーター養成講座についてということ Understanding してよろしいでしょうか。それとも全体についてでしょうか。全体につきましては、基本的には学校教育の中で先生の負担を減らす、また地域の方々に学校経営に参画していただくといったところから、そういったところはこちらのほうでは細かく制限は考えておりません。学校側でこういう形をしたいということをご相談していただいた場合には、なるべくそういったものを受け入れられる範囲で実際に講師になり得る方々と調整を行って、できる部分についてはできる限りのことをしてまいりたいという考えです。したがって今までもやっている事業の延長線でございますので、大ざっぱなものとしたしましては児童・生徒に向けたものではございますけれども、それを肉付けしてPTAの方ですとか、学校の先生の方々が学習をしたいというような場合には、そういった方にもどんどん参画をしていただければと考えております。以上でございます。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。学校も人数も多かったりとか、学年がたくさんあるということで一遍にというのができないのかもしれないので、そういうところを柔軟にさせていただくと学校も企画を考えやすいのかなというふうに思いますので、どうぞ柔軟にお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ほかにご意見、ご質問ございますか。村越委員。

○委員（村越ひろみ君） ファシリテーター養成講座の初級・中級ってありますよね。多分このコーディネーターになった方はこういうのを受けたらすごく勉強になる

と思うのですが、初級と中級のどちらを受けようかなみたいなその基準みたいな明らかかなものはあるのですか。私はこっちを受けられますとか。初級でも中級でもいいというお話がさっきありましたけれども。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 冒頭申し上げましたとおり一般の方が受ける場合にはまず初級を受けていただかないと中級には行けないというシステムではございますが、今回のスクールコーディネーター方々で、ある程度そういった知識が自分にはあるよというような方々については、初級は省いて中級からでもいいですよということでご案内をしてみたいと思います。ですので絶対に中級からでないとか、初級から受けてくださいという縛りを若干緩くしていくというふうにご理解いただければと思います。以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かございますでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） これはここに書いてありますけれども謝礼等は全くなしということでの取り組みということですよ。学校の様子で考えた場合、例えば「具体的な方策」の①から④までのほかに、例えば農業指導とまではいかないですけども学校農園の指導とか、これはもう非常に地道にずっと長く続いてきているようなところもあるのです。これはもう私から見るとまさに地域人材の活用、地域の教育力の必要というふうに言えるのかなと思うのですけれども。そういう意味で、そういうところにもひとつ目を向けて大事にそういう方々の力をおかりしていくというような、そういう観点もしっかりと失わずに、しっかりと据えてやっていっていただきたいなというふうに思います。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 申しわけございません。謝礼につきましてはこちらのテキストの下の方に「希望する謝礼」という欄がございまして、発生する謝礼もあると考えております。こちらにつきまして2の「具体的な方策」の下線の引いてある部分でございますけれども、派遣に伴う費用というのは基本的には学校側のほうで負担をしていただくというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかによろしいでしょうか。

では私からも1件。これは今までの延長線上ということですが、現在この生涯学習サポーター、ここに登録されている現時点で62名とあるのですけれども、この62名の方で現在今までも学校でこういう形で何か生徒にかかわったという実績がある方というのは何人くらいおられるのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 申しわけありません。そちらの細かい資料が今手元にないところではございますけれども、お子様にというよりはむしろPTAの方々がこういう形でやりたいというようなお声をかけていただいて、ご紹介した例というのは多くございます。以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見ご質問ございますでしょうか。

それでは報告・連絡（8）につきまして了承いたします。



◎報告・連絡（9）市制施行60周年記念

第18回みんなのスポーツdayの開催について

◎報告・連絡（(10)市制施行60周年記念

ウォーキング・ウォークラリー歩いて知ろう我がまち府中！の開催について

○委員長（崎山 弘君） 報告・連絡（9）、（10）につきまして、一括して生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） それでは生涯学習スポーツ課より「市制施行60周年記念 第18回みんなのスポーツday」の開催につきまして別紙の資料9に基づきご報告いたします。10月13日の体育の日にふさわしく、多くの市民がスポーツに親しむきっかけとなるよう各地域体育館を無料開放し、ニュースポーツに触れていただく機会を提供するほか、特別企画を開催いたします。チラシの裏面をごらんください。記載のとおり各地域体育館では午前と午後にわたりラリーテニスなどニュースポーツを実際に体験できるほか、特別企画として支援団体のご協力のもとダンスや新体操などの演技披露を予定しております。本事業はスポーツ推進委員と各地域体育館の運営協議会委員との協働により企画・運営しており、各地域体育館におきましてはそれぞれ特色ある内容となっております。委員の皆様におかれましては、ご都合つきましたらご来館いただき、楽しんでいただければ幸いです。

引き続き別紙資料10「市制施行60周年記念事業 ウォーキング・ウォークラリー 歩いて知ろうわがまち府中！」につきましてご報告をいたします。

本事業も市制施行60周年記念事業といたしまして11月16日日曜日、府中市郷土の森公園芝生広場をメイン会場として、市内の各所旧所をめぐるウォーキングイベントを開催いたします。

コースは2種類4コース設定しております、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれの健康・体力に合わせて参加できるようになっております。

初めに、ウォーキングコースは約8キロ・約20キロのコースに分かれていて、記載のコース周辺の主な見どころポイントを歩いて楽しめるコースとなっております。

次にウォークラリーは約5キロのファミリー向けのコースと約3キロの車椅子などでも参加できるユニバーサルコースとなっております。コース内容は当日配布されるコマ図を頼りに、出題される課題を解決しながら進む野外ゲームとなっております。

これを機会に府中の魅力あるスポットを再発見していただくとともに、大人の方ももちろんのこと子どもたちの健康増進につながればと考えてございます。委員の皆様におかれましても、ぜひご都合つきましたらご参加いただき、府中の魅力あるポイントを再発見していただければ幸いです。以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告のまず（9）「みんなのスポーツday」につきましてご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

報告の（10）「歩いて知ろうわがまち府中！」につきましてご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、私のほうから。例えばこの「いけいけコース」のところでは競馬場とか自衛隊の基地とかこういうのがあるのですけれども、「ふだんは入れないけれども入れる」

みたいなそういうところはあるのでしょうか。そういうのがあるとなんか行きたいと思う人が出てくるのかなという気がするのですけれども。どうでしょう。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 今お話ありました競馬場とか、あとは自衛隊基地なのですが、できれば入れるとなお一層楽しめるところがあるかと思いますが、なかなかその辺の規制とかございまして、入るのはなかなか難しいのですが、そこを眺めながらというところですよ。楽しんでいただければというような形で考えているところでございます。以上です。

○委員長（崎山 弘君） 承知いたしました。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） それから、そのほかサントリーのビール工場がございますが、そういったところをぜひ一般の見学でもそもそも可能な形になると思いますので、いろいろなところで楽しみながらのイベントというふうになっていると思います。以上です。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。松本委員。

○委員（松本良幸君） 参加費がほかの企画からすると若干高めなイメージがあるのですが、何かお弁当がついているとか、保険料が高いのだとか、何かそういった理由づけがあるのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 今回参加費をいただくという形のイベントを実施させていただきます。その中には実際大会の準備に伴う設営費ですとか、保険代とか、もろもろの経費が含まれているものという形で設定させていただいております。そのほか全国でもいろいろなウォーキングイベント等を実施しておりまして、そういったところも内容は参考にさせていただいたという形でございます。それから今度9月の21日号の広報に記載をする予定なのですが、この大会開催に伴ってご協賛いただける企業さん等も募ってまた参加者にいろいろな形でお土産というものがお渡しできればいいというふうにご考えてございます。以上でございます。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。特に「完走記念賞」とかそんなものがあるのであれば、そういうものがありますよというのも何かあったほうが。これだけだとちょっとインパクトに欠けるかなと。せっかくもしあるのであれば加えてあげたらより多くの参加者がふえるかなというふうに思いました。以上です。ありがとうございます。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） ちょっとよろしいでしょうか。こちらは今回委員の皆様にお示しした資料につきましては、告知版という形で7月の下旬から8月の頭に各世帯に配付されたと思うのですが、その中に折り込みという形で配付させていただいたものをきょうはお示しをさせていただいております。また近々、今、委員さんがお話いただきました、もう少し細かなところの内容を含めたものの概要をチラシとして鋭意作成しておりまして、近日中に配付を予定しております。以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかによろしいでしょうか。

○委員（村越ひろみ君） 私もちょっと参加費は結構かかるのだなとは思っていたので、何かお土産があるといいなと思います。それと、参加の定員、500人、1,500人となっていますけれども、どんなふうに動いていくとか回っていくとか、グループになるのか、好きに行っていくのか、その辺を伺えたらと思います。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 基本的には各コースで時間の設定というものはまず設定をさせていただいております。ただ、全体でいきなり1コースで一遍にスタートしてしまうといろいろな交通上の問題ですとか、参加者の安全確保というものができませんので、そこは断片的な形でこちらからアナウンスをさせていただいて、グループごとにといいいますか、出発の合図をさせていただきたいというふうに考えております。以上でございます。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かございますでしょうか。

それでは報告・連絡（9）、（10）について了承いたします。



◎報告・連絡（11）府中市美術館運営協議会答申について

○委員長（崎山 弘君） 報告・連絡（11）について、美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは第7期「府中市美術館運営協議会答申」につきまして資料11に基づいてご報告いたします。

まず「1 趣旨」ですが、平成24年11月に美術館館長より諮問された「美術館と地域社会、そしてマネジメントについて」に対して12名の委員が審議を重ねてこのたび答申を提出したものです。以下、しばらくホッチキスどめした資料の本編のほうをごらんください。

まず1、2ページをお開きください。「はじめに」に続きまして「2 美術館と地域社会」では（1）地域社会との連携、（2）公園や周辺施設との連携について提言をいただいております。できるだけ市民が親子で来館できるそういう機会を多く設けること、また商店街や、公園周辺施設との連携などが提案されております。

次に（3）美術館のマネジメントについてですが3、4ページをごらんください。

（1）の使命、からマーケティング、アンケート、開館日数、展覧会、収集、教育普及事業、ボランティア、調査・研究、そして（10）の市立美術館としてまで10項目に及び、多岐にわたる詳細なご助言をいただいております。来館者等組織のマネジメント、それからボランティアとの協働など、ソフト面でのさらなる充実が求められております。

次に7、8ページをごらんください。「4 市民サービスについて」では、来館者へのおもてなし、ミュージアムショップとカフェの改革、そしてメンバーシップ制度の改善が必要であると提言されております。

最後に8ページをごらんください。「5 おわりに」ですが、3段目にありますとおり、中長期的な視点から美術館のあり方を考え、地域との協働をさらに進めるべきことなどが示されております。

A4のレジユメにお戻りください。「3 今後の予定」ですが、この提言を今年度から始まっております第6次総合計画前期基本計画に生かすように事業改善に取り組んでいくものとしたします。以上、第7期美術館運営協議会の答申に関しましご報告を終わります。以上です。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告・連絡（11）について了承いたします。



◎その他

○委員長（崎山 弘君） その他ですが何かございますでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長（崎山 弘君） ないようでしたら、教育委員報告に移りたいと思います。

○委員（村越ひろみ君） では村越から報告させていただきます。

まず初めに先月、先々月と2回にわたって委員会を欠席したことを深くお詫びさせていただきます。申しわけありませんでした。私事の理由にご理解いただいたことに感謝申し上げます。おかげさまで娘の第3子である長男と、息子の第1子である長男が誕生して、娘と嫁の出産というお手伝い、世話をすることが、役目を果たすことが無事にできました。孫が4人となり、少子化対策には貢献することができているのかなと思い、またこれは幸せなことなのであらうと感じています。本当にありがとうございました。済みませんでした。

委員としての活動ですが、きのうのミレー展のレセプションの参加が唯一となりますが報告させていただきます。

ミレーの描いた絵といえば「種をまく人」と「落穂拾い」くらいしか知らず、ほかの作品を目にしたこともありませんでした。レセプションの中で学芸員の方のお話を聞いて、ミレーは人を愛する家族思いの画家であり、その姿をたくさん描いてきたということがよくわかりました。展示を見終えた後に何か本当に気持ちがほっとして、すてきな時間を過ごすことができたと感じました。ミレー生誕200年であり府中市美術館の井出館長さんがミレー展の開催にかかわった10回目でもあるというお話も聞いて、何より市制60周年の記念すべき年にふさわしい企画展だと思えます。市内外からたくさんの方に見ていただけることと思えます。ミレーを知らなかった人にもたくさんの方を知ってもらえることと思えます。私ももう一度行きたいと思えます。ありがとうございます。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤より報告をさせていただきます。8月30日土曜日午前に、故松村壽志議員の葬儀に参列をしました。故人の市政にかかわる業績をしのび、謹んでご冥福をお祈りしてまいりました。

8月30日土曜日の午後ですけれども、熊野神社古墳の発掘調査の現地見学会に参加いたしました。今回の発掘現場は古墳の建造のために必要な関東ローム層の土を掘り出した跡であるということなど、担当の方の詳しい説明をお聞きすることができま

した。市民の方々も見学に見えていらっしやいまして、係の方の説明に熱心に耳を傾けていらっしやる姿が幾人も見られました。

8月31日日曜日ですけれども、郷土の森総合プールで行われました第57回府中市民体育大会夏季大会水泳競技会の開会式に出席いたしました。そして、競技の一部を参観いたしました。小学生以下から大人まで、皆さんが全力で泳いでいる姿がとてもすばらしく見えました。そして、見学をしているほうにもその気迫が伝わってくる感じでした。また、参加者が多くスポーツに対する市民のニーズの大きさというものを改めて感じさせられる大会でございました。

次に、9月6日の土曜日ですけれども、第21回府中市生涯学習フェスティバルが府中市の生涯学習センターで行われ、その取り組みの一環としての講演会に参加をいたしました。講師は江戸東京博物館の館長の竹内誠先生で、「江戸の知恵と心語る」という演題でのお話でした。江戸の庶民の暮らしについて資料をもとにしながらユーモアを交えた実に興味深いお話をお聞きすることができました。そのお話を通じまして江戸の庶民の生活の知恵というものに学ぶべきことがたくさんあるなということに気づかされました。大変有意義な講演会でございました。

次に、9月10日日曜日、午後、昨夜のことです。府中市美術館で行われました市制施行60周年記念、生誕200年のミレー展レセプションに出席いたしました。いつものレセプション以上に多くの参加者や来賓の方々をお迎えしての取り組みで、準備をしてくださった皆様方の意気込みと市制施行60周年をお祝いする気持ちが強く感じられるレセプションでございました。また、井出館長や学芸員の方のお話をお聞きした後に、2階の展示された作品を鑑賞いたしました。解説を聞いた後なので幾つか見なれた作品もあったわけですが、また新鮮に目に映るという感じでした。府中市民の皆様を初め、多くの皆様方のご来場を期待したいと思います。以上でございます。

○委員（松本良幸君） それでは松本よりご報告させていただきます。8月23日どりーむホールで開催されました、市制施行60周年記念第29回青少年音楽祭を観賞してまいりました。迫力のある太鼓の演奏や慶應音楽部から本格的なオーケストラまで、どの参加者もすばらしい演奏を聞かせてくださいました。中でも府中第四小学校ハーモニーブリーズジャズオーケストラの演奏は、サウンド、ビジュアルとも本当に小学生なのかなと疑いたくなるほどのクオリティで本当に驚かされました。また、2日間にわたる音楽祭の準備運営にご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

8月30日、国史跡武蔵府中熊野神社古墳隣地で行われた発掘調査現地見学会に伺いました。数年前から継続して発掘調査が行われている古墳西側の土取穴状遺構調査だそうですが、文化財課の塚原さんから発掘の概要についてわかりやすくご説明をいただきました。パワーショベルもスコップもない時代によく掘ったものだなと素人感覚で感心しきりの見学でした。

8月31日、総合プールで開催された市民体育大会夏季大会水泳競技会開会式に出席してまいりました。猛暑もおさまり若干涼しい日でしたが、プールでは真っ黒に日

焼けした選手たちによる熱戦が繰り広げられ、会場放送では大会記録更新の速報が盛んに伝えられていました。参加者の中から6年後の東京オリンピックに出場する選手が出てくることを夢見たいと思います。

9月6日、第21回生涯学習フェスティバル講演会「江戸の知恵と心」を聴講してまいりました。江戸東京博物館館長竹内先生のお話はユーモアたっぷりの楽しい語り口で、江戸時代の庶民生活が目には浮かんでくるようなとてもわかりやすいお話でした。また、講堂内は年配の方が大勢参加されておられ、まさに生涯学習のイベントとして価値ある講演会であったと思います。

昨日、9月10日、府中市美術館で開催されたミレー展開会レセプションに出席してまいりました。一足早く会場に伺い、作品を鑑賞させていただきましたが、テーマを持って展示された作品は圧倒的な存在感で、美術の心得のない私であっても素直に感動する瞬間でした。一度だけでは感じ取れないことがたくさんある気がしましたので、開催期間中にもう一度訪れてみたいと思います。

以上で私からの報告を終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、浅沼が報告いたします。8月23日、第35回小学生バレーボールの集いが総合体育館で開催されまして、市長代理で挨拶を代読してまいりました。今回参加チームは33でした。その様子なのですけれども、最初のゲームでは、どことなく動きがぎこちなかったメンバーも試合が進むにつれてラリーが続くようになりました。青少対の正副委員長会と東京府中ライオンズクラブの共催のもと、府中市バレーボール連盟の方々が審判を務めていただくなど、スポーツを通じての小学生の仲間づくりの場をつくっていただいていることをありがたく感じました。

続きまして、8月24日、府中市制施行60周年記念、第29回府中市青少年音楽祭が23日の合奏に引き続きまして合唱の部が開催されまして、冒頭挨拶を述べた後、観賞してまいりました。小学生、中学生、そして府中西高、混声合唱団の「ADA」と「麗鳴」が発表いたしました。小学生から中学生、高校生、そして大学生、社会人とそれぞれの練習や経験の積み重ねに裏打ちされた合唱を聞きまして、大変充実した時間を過ごすことができました。特に小中学生にとりましては、あのよう歌いたいという憧れや目標を明確にすることで、さらに合唱活動への意欲が高まったのではないかなというふうに思っております。

それから、8月30日、熊野神社の遺跡発掘の見学会、8月31日は市民体育大会夏季大会水泳競技大会の開会式、そして見学をしてきました。

続きまして、9月6日、教育センターで第63回中学生のリーダー研修会議が開催されまして、激励の挨拶を述べてまいりました。今回のテーマは「学校のリーダーとして求められること」でありました。研修を受けた生徒たちが中学校生活の向上に向けて、主体的・自立的に活動することで学校生活がさらに安定し、生活そのものが生徒にとって充実することを願っております。学期初めの忙しい中、校長先生をはじめ生徒会担当の先生方の熱意に感謝をしております。

それから、その後、先ほどもご報告がありましたけれども、第21回府中市生涯学習フェスティバルを見学させていただきました。

続きまして、後ほど担当のほうから報告があるかと思いますが、9月9日、この7日にどりーむホールで開催された第69回合唱コンクールで府中四中が都代表に選ばれまして、岩手の盛岡市で開催される全国大会に行くことになり、三浦校長先生、顧問の横田先生、そして部長、副部長、さらには日ごろからご支援いただいている保護者の代表の方の来室がありまして、報告を受けました。同時に、高校Bでしょうか。府中西高が選ばれまして、次の10日に清水校長先生が来室されました。都の代表として中高がともに府中市が選ばれたことを大変喜んでます。また、市制60周年の記念式典のイベント等でも両校が合唱を披露する予定がありますし、府中一中と府中二中の連合の合唱も銀賞を受賞いたしました。大変うれしい限りであります。

それから、9月10日にミレー展のレセプションに出席いたしました。以上であります。

○委員長（崎山 弘君） それでは、崎山より報告いたします。8月31日、皆様、市民体育大会水泳競技会に参加しておられたころ、私は大阪で開催されている日本外来小児科学会に参加していました。メインシンポジウムで「教育委員として地域の子どもたちを支援する」というタイトルで講演してきました。今、ここにいるように、教育委員会定例会に出席することや入学式や卒業式、運動会やセカンドスクールなど子どもたちの学校行事、市民体育大会や駅伝大会などのスポーツ関係、美術館などの生涯教育関係の行事に参加することも重要ですが、小児科医としての観点からは、学校並びに教育委員会という組織を、子どもたちを育ててくださる学校の先生方が育つ場として捉える視点も忘れてはならない。そのためには先生たちのニーズ、要望に応えるような活動、例えば学校での救急対応の講演会などをすることが、間接的ではあるが子どもたちの支援になるというお話をしてまいりました。

9月9日、午後に都庁で開催された地方教育行政法の改正に伴って教育委員会制度が変わることに関する説明会に、教育長、教育部長などとともに出席してきました。制度などの形が変わるときは一緒に今まで不都合であったところを手直しするよい機会です。自宅の改築にあわせて家具を買いかえるのと同じです。今回、その改築の方向性がかなり明確に示されたので、これにあわせて府中市教育委員会はどのように変わるべきか、どのような変わり方があるのか、幸い少しばかり猶予の時間を与えられているので、熟慮して対応したいと思います。条例や規則の書きかえを担当される部署の方には大変な苦勞であると思いますが、よりよい府中市教育委員会を人の目に明らかにさせる仕事ですので、どうぞよろしく願いいたします。

同じく9日、都庁から帰ってきた後で、都立小児総合医療センターの準夜帯の救急診療をしてきたのですが、そこでアレルギー科の赤澤部長より、学校の先生方に向けて食物アレルギー（エピペン）の講習会を開催するので、府中市の先生方に伝えてほしいと申し出がありました。10月22日と11月19日に小児総合医療センター内で開催されます。詳細は後で教育長に渡しておきます。アレルギー科の専門医から指導を受けられる機会はそうはありません。やはり小児総合医療センターのお膝元の府

中市で学校給食によるアレルギー事故があつては申しわけないと思いますので、希望者はぜひ申し込んでください。

10日、昨日ですが、私は都合により美術館のミレー展のレセプションには参加できませんでしたが、レセプションが始まる前に公開初日のミレー展を鑑賞してまいりました。展示されている85点のミレーの作品1つ1つがどのような時代に、ミレーがどのような意図を持って作成していたのかがわかりやすく展示されており、とても楽しめました。あらかじめ井出館長の著書を1冊読んでから出かけていたこともあって、井出館長のミレーにかける情熱を美術館職員が盛り上げているというふうにも見えて、府中市美術館ならではのミレー展になっていると感じました。以上です。

それでは、公開での会議はここまでと休憩の後に、非公開で日程第5及び日程第6を扱いたいと思います。

それでは、暫時休憩いたします。

午後2時42分休憩

_____ ◇ _____

午後4時10分再開

_____ ◇ _____

府中市教育委員会委員長選挙について

府中市教育委員会委員長職務代理者の指定について

(非公開会議により非公開)

○委員長（崎山 弘君） 平成26年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

_____ ◇ _____

午後4時16分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

平成26年11月20日

府中市教育委員会委員

齋藤 裕吉

府中市教育委員会委員

村越 ひろみ